

2017年11月8日

住友理工、ドイツの国際医療機器展示会「MEDICA 2017」に出展 ～体圧検知センサー「SR ソフトビジョン」を欧州で初披露～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 社長：松井徹）は、ドイツ・デュッセルドルフで 11 月 13 日（月）から開催される国際医療機器展示会「MEDICA 2017」に初出展します。



欧州では、高齢者人口の増加、介護人口の不足が社会課題となっており、より質が高く効率的な看護・介護を行うことに注目が集まっています。また、同地域では、在宅看護・介護が主流であり、患者様に対して正しい体位変換やポジショニングなどのケアを、ご家族が中心となって介護士や看護師、医師、医学療法士などと連携しながら行うこととなります。

当社は、医療・介護施設だけではなく、欧州で一般的な在宅介護でも利用することのできる体圧検知センサー「SR ソフトビジョン」を欧州で初めて紹介します。「SR ソフトビジョン」は、体圧やバランスを可視化する製品で、体圧の管理が簡単にできます。当社が開発した柔らかくて丈夫なゴムでできたセンサー「スマートラバー（SR）センサ」を内蔵しています。お手持ちのパソコンやタブレット PC にソフトウェア（英語・ドイツ語に 2018 年上旬対応予定）をインストールし、本体と USB 接続するだけで簡単に利用することができます。

今まで医療従事者の経験に頼って行っていた床ずれリスクの管理が、「SR ソフトビジョン」によって圧力が高い箇所を「見える化」し、リアルタイムで圧力の変化を確認しながら行うことができます。

当社は、近い将来の欧州市場での本格展開を見据え、本展示会では、欧州での販売網確立に向けた医療機器商社や販売代理店の皆様とのコネクションの構築を図ります。また、「SR ソフトビジョン」を通じて、欧州の皆様のご生活の質向上に貢献してまいります。

<開催概要>

展示会名	MEDICA 2017
会期	11月13～16日
会場	デュッセルドルフ見本市会場
ブースエリア	ホール10 C-56

<展示品紹介>

>>SRソフトビジョン

利用者の体圧分布やバランスを PC などの端末に表示できる SR センサの技術を使った体圧分布測定器です。ゴムでできたセンサーを採用しているため柔軟で伸縮性があります。またシート部分も柔らかい素材で構成しているため利用者に違和感を感じさせにくい仕様です。

2013年に第1弾となる「分布版」を発売して以降、タブレットやスマートフォンなどのモバイル端末で使用可能な「無線版」、頭から足先まで全身の圧力分布が計測できる「全身版」など、使用シーンに合わせて製品ラインアップを拡充。車イスのシーティングツールや、寝たきりの方の床ずれ管理ツール、リハビリ支援ツールとしてご利用いただいております。



SRソフトビジョン

以上

--- 住友理工について ---

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、エレクトロニクス、インフラ、住環境・健康介護の各分野でも事業を展開しています。23ヶ国106拠点に広がるグローバルネットワークを活用して、世界中の人々に安全・安心・快適を提供する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋

tel 052-571-0259 e-mail kouhou@jp.sumitomoriko.com <http://www.sumitomoriko.co.jp/>